

「第3期洲本市総合戦略」策定に向けた ワークショップのとりまとめ

みんなで考える“ずっと住みたい洲本”市民ワークショップとりまとめ資料・・・・・・・・ 2

洲本市若手職員総合戦略ワーキンググループとりまとめ資料・・・・・・・・・・・・・・・・ 10



みんなで考える“ずっと住みたい洲本”市民ワークショップ

とりまとめ資料

1. 実施の目的

- 洲本市が今よりももっと魅力的で“ずっと住みたい”まちだなと感じてもらえるようになるためには、何が必要で、何をすればよいかを市民の皆様と考えていただくためワークショップを実施しました。
- ワークショップを通じて、洲本市のまちづくりに関する参加者の皆さんの考えやアイデア等を伝える機会であるとともに、参加者の皆さん一人ひとりに改めてまちづくりへの興味や関心をもつていただく機会となるように開催しました。
- ワークショップでの意見・アイデア等は、今年度策定予定の「洲本市総合戦略」検討の参考資料とさせていただきますなど、これからのまちづくりに向けて活用していきます。

2. 実施概要

<第1回>

開催日時	10月1日(土) 15:00~17:00
開催場所	市役所4階 401・402 会議室
開催テーマ	◇“ずっと住みたい洲本”を実現するための問題・課題とその解決に向けて ⇒ショップ毎に模造紙上で検討・作成
参加者	市民アンケートにて参加申し込みいただいた方 6名

<第2回>

開催日時	10月8日(土) 15:00~17:00
開催場所	市役所4階 401・402 会議室
開催テーマ	◇プロジェクトに仕立てる ⇒各ショップでプロジェクトシート(複数)を作成 ◇プロジェクト発表
参加者	市民アンケートにて参加申し込みいただいた方 7名

3. プロジェクト概要

Aチーム

プロジェクト名	空き家、公共施設の有効活用 洲本ビラ
プロジェクトの目的	安く泊まれる 古民家ステイ！
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家の水回りのみリフォームして、宿泊（素泊まり）に使う （リフォームは誰がする？地区の業者さん？） →ご飯は地元のもの食べてね ●ホテルに泊まりにくい人（子どもづれ、ペットづれ）も気兼ねなく泊まれる ●オリオン、リュエルの近くにお宿がある ●空き家を提供してもらう →千草、五色（鳥飼）にもあるはず！
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家を活かして使う、空き家が無くなって good ●洲本にお金が入る ●犬を連れてキャンピング

プロジェクト名	市街地バス運行＝「月変わり」バス停
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●洲本の観光客の足にする（歴史的価値のある場所へ） ●高齢者の足に ●市のお店の活性化
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●地元ならではの店や歴史的に面白い場所を月変わりのバス停にする ●ジャンボタクシーの大きさを、まちをまわるバスを周回させる （臨時便予約制） ●バス停を毎月変えて、今日はここに行くから乗ろう！みたいな →高校生に（小中も）アンケートして、バス停を決める。高齢者にもアンケート。 ●派手なバスにする（子ども or 藤堂くんを書いてもらう。又は、アートのワークショップでまちごとに子どもに絵を描いてもらう。） ●バスの通り道に花を整備（三熊山の山頂辺りを花栈敷のように）
期待される効果	●地元も環境客もみんなで動ける！乗れる

プロジェクト名	歴史・湯めぐりスタンプラリー
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●洲本の歴史を学ぶ、魅力再発見 ●温泉でほっこりする
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●生石、先山、炬口、益習館←このあたりは必須 ●15～20 くらいの歴史のポイントをまわる（生涯学習課確認） →お風呂もポイント（5種類くらいから選べる） （ゆーゆーファイブ、東光湯、海月館、あわじ島観光ホテル、島花） →クリアした人にホテルニューアワジの宿泊券、入浴券など 島花なら入りやすいかも、他ニューアワジ 10 スタンプ→賞 20 スタンプ→賞 25 スタンプ→賞 ●マップ（紙ベース）、SNS（アプリ、スタンプラリー）両方でみれる ●スタンプラリー台設置
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●みんな歴史の勉強が出来る、再発見してくれる！ ●もっと知りたくなる！他の人にも伝えて PR 促進にも ●洲本市民自身も詳しくなって、伝えることが出来る →訪れた人に楽しんでもらう

プロジェクト名	深日洲本ライナーの継続と利用拡大プロジェクト
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●南大阪とのアクセスに便利な深日洲本ライナーの定期運航化と便数の増加 ●紀淡連絡道路実現に向けた需要の拡大と顕在化 ●自転車ツーリング客の流入と増加対策 ●旧市街地への流入人口の安定化により防犯・安全を実現
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●南大阪とのアクセスに便利な深日洲本ライナーの継続（令和7年以降）と充実化を図る。 ●現在は期間限定だが、土日祝だけでも通年運航と便数の増加を実現させる。 ●水面下で検討中の紀淡連絡道路が必要なことを関係者や国などへ実績を PR していく。 ●自転車を乗船できるので、便数等の増加により自転車ツーリング客の需要を増大させ、島内ツーリズムの活性化を図る。 ●伝統ある交通の要所としての利用者を増やすことで、旧市街地への流入人口を増やし賑わいを増やす。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●南大阪とのアクセス、利便性向上 ●紀淡連絡道路の早期実現 ●自転車の乗り入れが可能な連絡道路の実装化 or 電車の乗り入れ実現 ●旧市街地の地盤沈下対策

プロジェクト名	大学等の高等教育機関関係の設置プロジェクト
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●若年層の市外・島外流出の回避と逆流入対策 ●小学校などの既存施設の再活用 ●洲本市ならではの取り扱うことで地場産業活性の安定や雇用創出 ●旧市街地の活性化・再開発
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●大学、専門学校、職業訓練校など洲本市にない高等教育機関を旧市街地内に設置する。洲本市単独だけではなく、淡路市・南あわじ市との協力願わない。 ●施設の設置等により、高校卒業後の進路選択肢を増やし、Uターンを待つのではなく流出自体を防止するとともに、市外からの流入も狙う。 ●現在進行形の少子化による小学校等の統廃合が予想されることにより、利用されなくなる施設の再利用や跡地活用を行う。 ●学部など取り扱う分野を洲本独自のものとして、地場産業（観光、農業、漁業）の発展や雇用創出の機会とする。 ●安乎や五色方面の方が土地は潤沢にあると思われるが、あえて旧市街地内に設営することで、活性化や再開発を促すきっかけをつくりたい。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少防止 ●高等教育機関等新しい施設のシンボル化 ●伝統のある施設の再活用による郷土意識の再認識 ●地場産業の発展と安定 ●旧市街地の再整備と活性化

プロジェクト名	インバウンド事業者のスキマポータルサイト事業
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●市内でインバウンド事業を営む業者のPR促進と観光客との交流促進 ●参加事業者での共通ポイント事業などの実現 ●SNS連携により、観光客の安心・安全・簡単を提供
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●淡路全体での観光ではなく、洲本にフォーカスしたインバウンド事業者のポータル化。 ●ゴミ捨てルールの提供など共通ポイント事業を行うことで、情報発信や活性化を促す。 ●市内でもスマホを見ながら次の場所を探している人がよく見かけられるため、SNSなどを通じて、案内、PR等を行う。 ●最新案内図の更新など、最新の情報を提供する。 ●洲本独自で打ち出す。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●インバウンド事業者の売上・業績アップ ●ルールの周知や安心した観光地巡りの実現 ●ポータル事業による新たな雇用の創出や情報交換

プロジェクト名	中心市街地の路上喫煙禁止プロジェクト
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地での路上喫煙の禁止、罰則化 ●観光地としても禁煙・分煙は必須
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●中心市街地での路上喫煙の禁止を実施する。 ●国内の多くで実施されている繁華街での禁煙・分煙。 ●喫煙可能場所でのみ喫煙可能とする。 ●禁止地域での喫煙は罰則化を設ける。 ●コンビニ等の店頭での喫煙が目立つので、禁止としたい。 ●病院や大規模店舗では禁煙となっている。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴミの低減と景観の美化 ●防犯対策 ●減税分または罰金等により補填

プロジェクト名	市街地周遊バスの運行計画
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●路線バスより短い区間での市街地周遊バスの運行 ●高齢者や観光客の足となるミニバス・コミュニティバス ●脱車社会における公共交通として位置付ける
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●一方通行などが多く道の狭い市街地でのミニバスを運行する。 ●運賃は一律 200 円程度とする。 ●割引券や回数券、セット券、乗り放題などの企画を実施する。 ●周遊が望ましいが、まずはバスセンターから洲本高校方面（山越え）と市民球場方面の二路線。 ●山越え方面の山や三熊山へ続く道には桜をはじめ季節の花を植え、新たな観光スポットを作る。 ●地域別、シーズン別
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や観光客の足の確保 ●新しい公共交通の実現 ●新しい観光スポットの創出

プロジェクト名	旧淡路交通社屋のレトロ活用計画
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統・文化の継承と活用 ●レトロの取り組み促進
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●旧淡路交通社屋には伝統と文化の蓄積があるので、レトロ等との連携強化を図る。 ●高齢者にはなじみのある電車の軌道跡シンボル化することで観光拠点として活用する。 ●社屋は昔テナントが入っていたこともあるので、レトロ関係の店舗として再度誘致する。 ●車庫はレトロに関係した駐車場でよい。観光案内テレビの設置など。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●電車跡地のシンボル化による新たな観光施設の創設 ●レトロ地域の拡充と発展（点から線、線から面へ） ●店舗誘致による産業活性化と観光客への PR

プロジェクト名	学校部活動など課外活動の改善計画
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもが楽しく部活動などに取り組めるようにする。 ●顧問、監督等の管理者の外注化。 ●部活動等の活性化および発展
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●先生の目を気にすることなく、子どもが部活動などに安心して取り組めるようにする。 ●顧問や監督などは、基本的に学外から招へいする。学校関係者は補助的な役割にとどめる。 ●一定以上の成績をあげているクラブ、組織には活動費用の補助を手厚く行う。 ●もしくはサポーター制度を設けて、市民から募金等を受け付ける。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的な課外活動による活性化と洲本市ブランドの知名度の向上 ●学校関係者（教員）の負担軽減 ●安心した部活動、課外活動への取り組みが可能になる ●内申点などを気にすることなく青春をエンジョイ ●地域住民の子育てへの関心の高まり

プロジェクト名	城下町地域の街並み保存、再現プロジェクト
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統・文化の継承と再現 ●旧市街地の再開発の一形態
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●城下町地域の空き地、空き家を防止するとともに街並み保存事業として取り組む。 ●特に内町地区における街並み保存を優先することで観光地として位置付ける。 ●現在でもレトロと間違えて散策している人を見かける。また、道や店を聞いてくる人が多い。 ●特定地域だけでもよいので、一定の時代の街並みを再現する。再現に伴い、住民の理解と協力を得る。 ●古民家ステイ
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統の再現とインバウンド効果 ●空き地、空き家対策 ●旧市街地の再整備・再開発 ●脱車社会、非車社会下での効果的な観光事業

プロジェクト名	公共 NET カフェ 計画
プロジェクトの目的	-
取組（プロジェクト）の内容	●公共施設（フリーWi-Fi カフェ）→サテライトオフィス、コワーキング →公園、公民館、閉校舎
期待される効果	●空き家→「移住者のおためし」（ゲストハウス・レンタルスペース）→簡易宿泊 ●交流空間→まちの居場所

プロジェクト名	乗せてって～（ヒッチハイク条例）
プロジェクトの目的	●交通弱者（子ども、高齢者、障がい者、外国人観光客など）が安全にタクシーよりも手軽に島内を移動できるシステム
取組（プロジェクト）の内容	-
期待される効果	-

プロジェクト名	公民館改革
プロジェクトの目的	顔の見える地域づくり、（コミュニティ）居場所づくり→世代間交流、防災、減災拠点、（外国人）観光客誘致（里帰りのな）、移住相談窓口（空き家情報、未空き家整理）、独居老人や子どもなどの「子ども食堂」的役割、障がい者雇用、伝統文化の伝承
取組（プロジェクト）の内容	①富山型デイサービス（子ども、障がい者、高齢者が民家で過ごす）のような機能をもちつつ ②防災、減災の機能（オフグリッドで運営 電気、水道、ガスの自給自足）まき風呂、防災食、井戸水、非常時の練習として普段から常に使う ③まき風呂に入りたい環境客や近所の人々も立ち寄れるオープンな場所 ④地元の野菜を売ったり、だんじり唄など、その地域の押し（地域性・独自性）を体験できるイベントを開催するなど、地域にお金が落ちる（もうける）仕組みづくり ⑤都会と田舎をつなぐ拠点となり、里帰りのようなりピーターを産む ⑥空き家情報を整理、空き家予備軍（未空き家）を整える→移住者増 ⑦防災食で作ったご飯を「子ども食堂」ならぬ「みんな食堂」として、地域の人や観光客が食べられる ⑧掃除や調理など、地域の障がい者の人が働ける場に ⑨災害時にみんなが安心して逃げてこられる場所
期待される効果	●南海トラフなどの災害時に備える ●地域活力アップ ●ゆりかごから墓場まで安心して暮らし続けられるまちづくり

プロジェクト名	子どもカレー研究所
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●地産地消、旬の食材を知る ●発信力をみがく ●経済を学ぶ
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●淡路島の旬の食材を使ったカレーをつくる ●食材の調達、調理、販売、イベントを子ども達と企画 ●通販で全国へ発信 ●ウェブチケットでカレー作りの体験販売 ●支援チケット販売で全国から集金 ●大人は環境を作る、子ども達への「信頼」 ●ケーブルTV、YouTubeでの発信
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●旬をしるコトで好き嫌いを減らす ●自分たちで「できる」を知る、経済を学ぶ ●企画力が身につく ●応援し合うコトが出来る

プロジェクト名	五色ピザ作りプロジェクト
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●五色を元気に！ ●五色へのアクセスを増やす
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●かまど作り（愛農かまど作り）3日間→1ヶ月でかわく ●五色（ごしよく）の食材 →五色の飲食店をまわる、オーナーメニューを考える ●淡路産 ●年に12回又は4回のスケジュールを決める ●学校にチラシ配る、出欠をとる
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●五色への感じが高まる ●旬の食材を使うコトで、年間を通したイベントが出来る

洲本市若手職員総合戦略ワーキンググループ

とりまとめ資料

1. 実施の目的

- これからの洲本市のまちづくりに向けたアイデア出しやそれを実現するための方法について意見を募集するため、全職員を対象としたアンケートを実施しました。
- アンケートの結果を基に、若手職員有志でワーキンググループを作り、関心の高いテーマやアイデアについて議論し、提案プロジェクトとして取りまとめました。
- ワーキンググループで取りまとめたプロジェクト等については、プレゼンしたものを中心に今後実現に向けて検討を進めていきます。

2. 実施概要

<第1回>

開催日時	8月24日(水) 10:00~12:00
開催場所	市役所3階302・303会議室
開催テーマ	◇アンケート結果を踏まえての意見交換、テーマ選定 ⇒「推し活」「子育て」をテーマにプロジェクト素案の作成
参加者	若手職員有志 10名

<第2回>

開催日時	10月4日(火) 10:00~12:00
開催場所	市役所4階401会議室
開催テーマ	◇プロジェクトの選定、提案書・プレゼン資料の作成 ⇒10月27日まで随時
参加者	若手職員有志 7名

<第3回>

開催日時	10月27日(木) 10:00~11:30
開催場所	市役所3階302・303会議室
開催テーマ	◇プロジェクトの発表 ⇒市長、副市長へプレゼン
参加者	若手職員有志 6名

3. プロジェクト概要

※太枠はプレゼンを行ったプロジェクト

プロジェクト名	子育てを「大変」から「楽しく」へ！ 子育て寄り添いプロジェクト～デジタル化の推進～
プロジェクトの目的	デジタル技術を活用し、不安や負担を期限することで、子どもを生き育てることに楽しみを！
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●母子手帳アプリの拡充、予防接種関係のアプリ化 ●乳幼児健診の簡素化、調査票をスマホで作成 ●育児・栄養相談にチャットボットやLINEを活用 ●周知媒体のデジタル一元化、プッシュ通知の活用 ●メタバース空間にオンライン広場を創設
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●準備物の軽減、接種忘れの防止、準備時間・待ち時間の削減 ●負担の軽減により、子どもと触れ合う時間を増加 ●情報収集が手軽に、必要な情報を必要な時に ●自分に合った「広場」を選択、不安の軽減



プロジェクト名	親が安心できる子供の遊び場づくり
プロジェクトの目的	三熊山の公園に PPP・PFI を活用したフィールドアスレチック施設を整備
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●三熊山の公園にフィールドアスレチック施設を建設（イメージ：須磨離宮公園、六甲山グリーンシアなど） ●将来的には飲食施設、屋内遊技場、こどもの預かり施設、集会所、宿泊施設を併設 ●運営は民間委託、有料施設とし（市民は割引適用）、観光客と地元市民の両方が楽しめる施設に
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●遊具施設による運動不足の解消 ●既存ストックの利活用、公園管理の経費削減、民間活力の活用 ●施設の複合化により自然と子育て世代が集まる場所を作り、効果的な情報提供、市民サービスの提供を

プロジェクト名	10代へ向けた文化発信の拠点づくり
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●休日や学校帰りに遊びに行ける公園や遊び場の整備 ●新しい文化発信の拠点作り ●放送部の延長戦をみんなで洲本で
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●スケートカルチャーを中心としたX系スポーツの総合公園の整備 ●商店街の空きテナントを活用したYoutubeやTwitch配信者向けの製作スタジオの新設 ●Nコンでも優勝した洲本高校放送部の元顧問やOB・OGによるコンテンツ作成指導
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●小中高生に向けた立地に整備することで日常の娯楽不足を解消 ●若者が新たな刺激に触れ、いつか戻りたいと思うまちへ ●幼少期から文化や芸術に触れることで、世界で通用する人材を育成



プロジェクト名	学校施設の規制緩和、利活用
プロジェクトの目的	学童不足を解消しつつ、増加傾向にある習い事をする小学生のニーズに応える
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●小学校の教室や体育館、運動場などを民間の学習塾やスポーツ教室として利活用 ●保護者、教員にアンケートを実施し、関係者の意見を反映して事業化
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●在学時間の延長や送迎不要により保護者の負担軽減 ●場所の提供により受講料を抑えられ、保護者負担の緩和 ●既存施設の利活用、民間活力の活用

プロジェクト名	若手職員 SNS プロジェクト～市職員 Youtuber 化計画～
プロジェクトの目的	農林水産省の Youtube チャンネル「BUZZMAFF」の経験を活かした新たな情報発信プロジェクト
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●Youtube 等で市職員、市民の人柄・素顔を発信 ●その人自身を“推し”してもらうことで、今後の活動や地域への関心を惹起 ●職員自らが効果的な広報について検討・発信 ●市民が“推される”イベントの開催（コラボ動画、オープンファクトリー、体験型ワークショップなど）
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の暮らしを感じることで親近感を、洲本を訪れる、会いに行く価値を創造 ●「伝える広報」から「伝わる広報」へ ●不足しているランチ・ディナーの間に楽しむアクティビティの創出 ●個性的な市民+手軽な体験ワークショップ+周遊スポット（聖地）化＝推される洲本市へ



ふだんの生活の中で、和の食事・食文化に触れる機会を増やしてほしい！暮らし方改革推進中！



プロジェクト名	「なのは」プロジェクト
プロジェクトの目的	市の公式キャラクター「なのは」を活用した様々なPRプロジェクト
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●なのはを添えて：子どもが喜ぶイベントなどに「なのは」を派遣 ●なのはグッズ：推し活に必須なグッズの種類を増やす ●なのはイラスト：文書や名刺、HPの記事に使用できる「なのは」のイラスト集を作成 ●なのはを咲かせて：なのはを添えてを発展させ、遠方へも派遣していく ●なのはでPR：市内の団体などにも「なのは」のイラストの使用を許可（イメージ：兵庫県認証食品の「はばたん」のロゴマーク）
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの集客力向上 ●「なのは」推しの人が増えることで「洲本」推しの人も増える ●名刺や特産品などに載せることで自然と全国に「なのは」が広がっていく



プロジェクト名	美食美生 まるっと中から健やかに
プロジェクトの目的	<ul style="list-style-type: none"> ●美味しいものを食べて、美しく日々を生きる。身体の中から外、心まで健やかに ●アジア圏を意識したナツメやクコの実などのスーパーフード（薬膳食材）の生産推進プロジェクト
取組（プロジェクト）の内容	<ul style="list-style-type: none"> ●スーパーフードの生産を推進、定着化 ●薬膳料理教室やお茶会、セミナーの開催 ●大規模イベントの開催 ●東洋薬膳や日中韓のお茶を取り入れた店舗認証制度の創設
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ●洲本市に行けばスーパーフードが手に入る「薬膳のまち」というイメージの定着 ●市民の健康と美への意識向上 ●アジア圏との関係構築



プロジェクト名	あなたの推しの聖地にただでいけるかも！？推し活費10万円プレゼント！ ～洲本にきて、感じ、そして私たちに教えてください～
プロジェクトの目的	●推し活者から洲本の可能性を学ぶ～タイムリーで有効な情報の入手～ ●市内で推し活をした人の活動データから洲本の推しを分析
取組（プロジェクト）の内容	●洲本で推し活を行いたい人やグループに活動費を助成 ●活動内容を SNS 等で発信、報告してもらい、洲本市の推しに関するデータを収集 ●収集したデータを基に関係者で情報交換会を開催
期待される効果	●洲本市の推しに関する貴重なデータの入手 ●データを基にした効果的な情報発信、イベント等の実施 ●助成費用の多くは市内での消費となり、地域への経済効果も見込まれる

プロジェクト名	推し活を応援して、応援される人もする人も、みんなが元気なまちづくり
プロジェクトの目的	高校生による新たな取組を応援し、「自分のやりたいことが実現できるまち」としての思い出づくり
取組（プロジェクト）の内容	●高校生による新しい取組を応援し、「自分のやりたいことが実現できるまち」として認識してもらい、チャレンジした思い出を作ってもらう ●高校生に限定した助成事業、ビジネスコンテストなどを開催
期待される効果	●大学進学等で島外に一旦は出て行ったとしても、戻って来たいと思える意識が芽生える ●高校生までの間に地域に根付く魅力を届ける必要があるが、推しの対象となる「人」を高校生に設定することで、同じ高校生を中心にリーチしていくことができる ●「HATAKE」や「Awaji.Acoustic.Team」のような、高校生で自主的に活動するグループから、淡路発の著名な推し活対象が生まれる可能性